
教育講演

大会第 1 日目 5 月 28 日(日)

A 会場(講堂)

教育講演

10:40 ~ 11:25

座長：片倉 賢（北海道大・獣医・寄生虫）

人獣共通感染症の克服戦略モデル
—インフルエンザウイルスの生態解明から予防・診断・治療法の確立まで—

○喜田 宏
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター

記念講演

大会第 2 日目 5 月 29 日(月)

A 会場(講堂)

記念講演

10:20 ~ 11:50

座長：堀井 俊宏（阪大・微研・分子原虫学）

鳥居 本美（愛媛大・PROS・寄生病原体学）

講演 1 寄生虫と人と動物と旅

○片倉 賢
北海道大学大学院獣医学研究院
病原制御学分野寄生虫学教室 教授

講演 2 Research global and live local ～ピロプラズマ病研究を振り返って～

○五十嵐郁男
帯広畜産大学原虫病研究センター

講演 3 「畜産寄生虫学」- 寄生虫ハンターと分子生物学ネイティブの狭間世代の研究の歩み -

○中井 裕
東北大学大学院農学研究科・動物環境システム学分野

BPA (ベストプレゼンテーション賞)

大会第 1 日目 5 月 28 日(日)

A 会場(講堂)

BPA

9:00 ~ 10:20

座長：美田 敏宏 (順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学)

永宗喜三郎 (感染研・寄生動物 / 筑波大・生命環境系)

BPA-01 陸貝を中間宿主とする吸虫の多様性 - 関東と北海道の陸貝を中心に -

○脇 司¹、池澤 広美²、中尾 稔³

¹目黒寄生虫館、²茨城県自然博物館、³旭川医大

BPA-02 トキソプラズマ原虫の Chitinase Like Protein 1 は潜伏虫体の再活性化に関与する

○村田 優穂、高野 量、五十嵐 慎、杉 達紀、加藤健太郎

帯畜大・原虫病研究センター

BPA-03 糞線虫の宿主体内移行に関与するカルシウム結合蛋白質のベネスタチン

○坪川 大悟¹、八田 岳士¹、菊地 泰生²、前田 大輝¹、三上 房子¹、丸山 治彦²、
辻 尚利¹

¹北里大・医・寄生虫、²宮崎大・医・寄生虫

BPA-04 血管内皮への *Toxoplasma gondii* 感染白血球接着が引き起こす原虫の時宜的脱出

○馬場みなみ¹、Tatiana Batanova²、鬼頭 克也^{1,2}、高島 康弘^{1,2}

¹岐阜大・連獣・獣医寄生虫、²岐阜大・応生・獣医寄生虫

一般口演（口頭発表）

大会第 1 日目 5 月 28 日(日)

A 会場(講堂)

寄生虫のゲノム・進化

13:12 ~ 14:12

座長：奈良 武司（順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病）

1A-01 ランブル鞭毛虫近縁種における分割イントロン（splintron）の探索：splintron の普遍性と成立過程の解明に向けて

○杉崎 真¹、神川 龍馬^{2,3}、稲垣 祐司^{1,4}、橋本 哲男^{1,4,5}、谷藤 吾朗⁶

¹筑波大・院・生命環境、²京都大・院・地球環境、³京都大・院・人間環境、

⁴筑波大・計算科学センター、⁵筑波大・生命環境、⁶科博・動物

1A-02 Molecular taxonomic analysis of *Retortamonas* spp. detected from humans and related animals in Indonesia

○Joko Hendarto Tukimin¹、Takehiro Nagamoto¹、Tetsushi Takehiro¹、Din Syafruddin²、Masaharu Tokoro¹

¹Dept. Parasitol. Kanazawa Univ., Ishikawa, Japan、

²Eijkman Inst. of Mol. Biol., Jakarta, Indonesia

1A-03 ベトナムの犬における鉤虫類感染状況とセイロン鉤虫の系統解析

○足立 守¹、Yen T.H. Nguyen¹、Linh Bui Khanh²、吉田 彩子¹、野中 成晃¹

¹宮崎大・農・獣医寄生虫病、

²Parasitol. Dept., Fac. Vet. Med., Vietnam National Univ. of Agriculture

1A-04 リアルタイム PCR 法による単為生殖型肝蛭の遺伝子型を識別する方法の確立

○田波 敦士¹、林 慶^{1,2}、中尾 稔³、関 まどか¹

¹岩手大・獣医寄生虫、²岐阜連獣、³旭川医大

1A-05 イルカ裂頭条虫のミトコンドリアゲノムの配列決定

○泉山 信司、山崎 浩、野崎 智義

感染研・寄

寄生虫の集団遺伝 I

14:12 ~ 14:48

座長：山岸 潤也（北大・人獣センター・国際協力・教育）

1A-06 宿主内競争による熱帯熱マラリア原虫のクロロキン感受性の回復

○橘 真一郎¹、池田 美恵¹、Betty Balikagala²、櫻井 美樹³、八代 聖基⁴、関原 誠¹、山内 祐人¹、Mary A. Auma⁵、平井 誠¹、森 稔幸¹、Nirianne M.Q. Palacpac⁶、片岡 正俊⁴、木村 英作⁶、堀井 俊宏⁶、美田 敏宏¹

¹順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター、

³東京女子医大・国際環境熱帯医学、⁴産総研・健康工学・バイオマーカー診断、

⁵セントメアリーズラチョー病院、⁶阪大・微研・分子原虫学

1A-07 養殖マボヤ被囊軟化症の原因鞭毛虫 *Azumiobodo hoyamushi* の遺伝的構造解析のためのマイクロサテライトマーカーの開発

○柳田 哲矢¹、仲山 慶²、山中 旅人¹、北村 真一²、広瀬 裕一³

¹山口大・獣・寄生虫、²愛媛大・沿岸研セ、³琉球大・理・海洋自然

1A-08 Genetic differentiation of *Schistosoma japonicum* in the Philippines using microsatellite markers

○Kharleezelle Jardin Moendeg¹、Jose Ma. Angeles¹、中尾 亮²、Lydia Leonardo³、Ian Kendrick Fontanilla⁴、後藤 康之⁵、桐木 雅史⁶、Minh Anh Dang Trinh¹、Elena Villacorte³、Pilarita Rivera³、井上 昇¹、千種 雄一⁶、河津信一郎¹

¹帯畜大・原虫研、²北大・獣医、³マニラ大、⁴ディリマン大、⁵東大農院・応用免疫学、

⁶獨協医大・熱帯病寄生虫病

寄生虫の集団遺伝 II

14:48 ~ 15:24

座長：金子 修（長崎大・熱研・原虫）

1A-09 Molecular detection and genetic diversity of canine *Babesia* parasites from Myanmar

○Bawm Saw^{1,2}、Thu May June³、Htun Lat Lat¹、Win Mar Mar⁴、Nakao Ryo²、Katakura Ken²

¹Department of Pharmacology and Parasitology, University of Veterinary Science, Yezin, Nay Pyi Taw, 15013, Myanmar、

²Laboratory of Parasitology, Graduate School of Veterinary Medicine, Hokkaido University, Sapporo 060-0818, Japan、

³Unit of Risk Analysis and Management, Research Centre for Zoonosis Control, Hokkaido University, Sapporo 060-0818, Japan、

⁴Rector office, University of Veterinary Science, Yezin, Nay Pyi Taw, 15013, Myanmar

1A-10 Characterization of *Babesia* species and *Anaplasma marginale* isolated from cattle in Benin

○Paul Franck Adjou Moumouni、鈴木 宏志、玄 学南

帯畜大・原虫研

1A-11 奈良市内の環境水からのアカントアメーバの分離と遺伝子型解析

○吉川 尚男¹、山本 万遥¹、山田 稔²

¹奈良女大・理・生物、²京府医大・院・感染病態学

寄生虫の分類 I

15:24 ~ 16:00

座長：浦部美佐子（滋賀県立大・環境科学）

1A-12 条虫類の診断学的鑑別に重要な石灰小体の生理・組織学的再検討

○佐藤 千歳¹、鈴木真紀子²、石井 明³

¹岡崎市民病院・医技局臨検、²静医科学・臨検、³浜松医大・ウイルス・寄生虫学

1A-13 日本近海産の食用魚に寄生する *Kudoa* spp. (Myxosporidia: Multivalvula)

笠井 亨浩¹、李 迎春²、ヒメネス レア・アングシンコ³、柳田 哲矢¹、田中 秀平⁴、

○佐藤 宏¹

¹山口大・獣医・寄生虫、²広東海洋大・農・獣医、³ダバオ・オリエンタル科技大・自然保全研、

⁴山口大・農・生物資源環境

1A-14 Molecular evidence of two *Spirometra* species causing sparganosis in human: *Spirometra erinaceieuropaei* and *Spirometra decipiens*

○山崎 浩¹、森嶋 康之¹、杉山 広¹、是永 正敬²、Keeseon Eom³
¹国立感染研・寄生動物、²高知大・医・寄生虫、³忠北国立大・医・寄生虫

寄生虫の分類 II

16:00 ~ 16:36

座長：松本 淳 (日大・獣医・医動物)

1A-15 猫条虫 *Hydatigera taeniaeformis* sensu lato の分類学的改訂

○中尾 稔¹、巖城 隆²
¹旭川医大、²目黒寄生虫館

1A-16 マイクロサテライトマーカーによる日本産肝蛭のクローン体識別能力の検証

○尾針 由真^{1,2}、林 慶^{1,2}、Uday Kumar Mohanta^{1,2}、佐藤 宏³、野中 成晃⁴、板垣 匡¹
¹岩手大・農・獣医寄生虫、²岐阜大院・連合獣医、³山口大・共同獣医・寄生虫病、⁴宮崎大・農・獣医寄生虫病

1A-17 寄生線虫類の虫体の巻き方に関する観察

○福本真一郎¹、近藤 史也¹、石渡 賢治²
¹酪農学園大・獣・寄生虫、²慈恵会医大・医・熱帯病

B会場(小講堂)

膜生物学 I

13:12 ~ 13:36

座長：橋本 宗明 (産総研)

1B-01 トリパノソーマにおける分泌初期過程の選別制御因子の解析

○二瓶 浩一¹、奈良 武司²、梅沢 洋二¹、柴崎 正勝¹
¹微化研、²順大・医

1B-02 マンノース転移酵素 ALG11 によるドリコール結合オリゴ糖鎖の合成は *Trypanosoma brucei* の生存に必須である

○中西 雅之、高橋 詩音、野元 裕
松山大・薬・生化

膜生物学 II

13:36 ~ 14:00

座長：岩永 史郎 (三重大・医・医動物)

1B-03 赤痢アメーバの病原因子システインプロテアーゼの輸送を制御する Rab11B の解析

○川野 哲郎^{1,2}、中野由美子¹、Gil M. Penuliar³、野崎 智義^{1,2}
¹感染研・寄生動物、²筑波大・院・生命環境、³Inst. Biol., College of Sci., Univ. Philippines

1B-04 赤痢アメーバにおけるオートファジー関連タンパク質 Atg8 による解糖系酵素の制御

宮本 絵梨^{1,2}、野崎 智義^{1,2}、○津久井久美子¹
¹感染研・寄生動物、²筑波大・院・生命環境

タンパク質機能解析 I

14:00 ~ 14:48

座長：入子 英幸（神戸大院・保健・国際保健）

- 1B-05 マラリア原虫転写因子 PREBP の KH ドメインはシスエレメントの特異的認識に関わっている
○駒木-安田加奈子、狩野 繁之
国立国際医療研究センター・研究所
- 1B-06 *Trypanosoma brucei* GMP reductase における CBS module の機能解析
○今村 章、大谷 拓也、岡田 哲也、西村 重徳、乾 隆
大阪府大・生命環境・生体高分子機能学
- 1B-07 熱帯熱マラリア原虫 SERA5 の P47 ドメインの機能解析
○東岸 任弘¹、安達 浩司²、布村 一人³、林 邦忠³、金 允政³、堀井 俊宏¹
¹阪大・微研・分子原虫学、²シスバイオ株式会社、³阪大・産学連携
- 1B-08 赤痢アメーバの含硫脂質代謝の全容解明
○見市 文香¹、宮本 智文²、吉田 裕樹¹
¹佐賀大・医学部・免疫学、²九州大学大学院薬学研究院

タンパク質機能解析 II

14:48 ~ 15:36

座長：加藤健太郎（長崎大・熱研・寄生虫）

- 1B-09 Expression profile of glutathione S-transferases during blood feeding of the hard tick *Haemaphysalis longicornis*
○Emmanuel P. Hernandez^{1,2}、草木迫浩大^{1,2}、Melbourne R. Talactac^{1,2}、Remil L. Galay³、藤崎 幸蔵⁴、田仲 哲也^{1,2}
¹鹿児島大・共同獣医・感染症、²山口大院連合獣医、
³Dept. of Vet. Paraclinical Sciences, Coll. of Vet. Med., Univ. of the Phil、⁴農研機構
- 1B-10 ペルオキシレドキシンは連携して細胞内過酸化水素濃度を制御する
○草木迫浩大^{1,2}、Emmanuel P. Hernandez^{1,2}、Melbourne R. Talactac^{1,2,4}、好井健太郎³、田仲 哲也^{1,2}
¹鹿児島大・共同獣医・感染症、²山口大院連合獣医、³北大院・公衆衛生、⁴カビテ州立大
- 1B-11 トリパノソーマ科原虫の ATP 産生と共役した酢酸：コハク酸 CoA 転移酵素とサクシニル CoA 転移酵素の構造生物学的な特徴
○稲岡ダニエル健^{1,2}、バログン エマニュエル²、鈴木 重雄²、志波 智生³、Frederic Bringaud⁴、原田 繁春³、北 潔^{1,2}
¹長大・熱医・グローバルヘルス総合研究科、²東大・医・生物医科学、³京都工繊大・応生学、
⁴Lab. of Fund. Microbiol. and Pathogenicity, CNRS, Univ. of Bordeaux
- 1B-12 Structural insights into NAD⁺ and NADP⁺ recognition from *Trypanosoma brucei* Glycosomal Isocitrate Dehydrogenase
○Xinying Wang^{1,2}、Daniel Ken Inaoka^{1,2}、Emmanuel O Balogun¹、Nicole Ziebart³、Stefan Allmann³、Michael Boshart³、Frederic Bringaud⁴、志波 智生⁵、原田 繁春⁵、北 潔^{1,2}
¹Dept. Biomed. Chem., The Univ. of Tokyo、
²Sch. of Glob. Health and Trop. Med., Nagasaki Univ.、
³Genetics, Biocenter, Ludwig Maximilians Univ. of Munich、
⁴Lab. of Fund. Microbiol. and Pathogenicity, CNRS, Univ. of Bordeaux、
⁵Dept. of App. Biol., Kyoto Inst. of Tech

マラリア免疫 I

15:36 ~ 16:12

座長：前川 洋一（岐阜大・院医・寄生虫）

1B-13 ネズミマラリア赤内型感染防御における OX40/OX40L 経路の役割

○小野 岳史、山口 陽子、宮平 靖
防衛医科大学校国際感染症学講座

1B-14 Metabolic adaptations during pregnancy are involved in the susceptibility to malaria parasites

○新倉 保、井上 信一、朝日 博子、小林富美恵
杏林大・医・感染症

1B-15 メトホルミンによるマラリア原虫排除亢進メカニズムの解明

○都田 真奈¹、Ganchimeg Bayarsaikhan¹、木村 大輔¹、Masoud Akbari¹、木村 一美¹、
鶴殿平一郎²、由井 克之¹

¹長崎大・院・医歯薬・感染免疫学・免疫学、²岡山大・院・医歯薬・腫瘍制御学・免疫学

マラリア免疫 II

16:12 ~ 16:48

座長：久枝 一（群大・院医・国際寄生虫病）

1B-16 IRF4⁺ dendritic cells play pivotal roles for the induction of protective immunity against infection with *Plasmodium chabaudi*

○簡 君宇、都田 真奈、Ganchimeg Bayarsaikhan、Masoud Akbari、木村 一美、
木村 大輔、由井 克之
長崎大・院・医歯薬・感染免疫学・免疫

1B-17 Vγ1⁺γδ T 細胞はマラリア原虫感染防御を促進することでその機能低下を引き起す

○井上 信一、新倉 保、朝日 博子、小林富美恵
杏林大・医・感染症

1B-18 マラリア原虫治癒後における免疫記憶消失は IL-27 依存的である

○木村 大輔¹、都田 真奈¹、Masoud Akbari¹、木村 一美¹、原 博満²、吉田 裕樹³、
由井 克之¹

¹長崎大・院医歯薬・免疫、²鹿児島大・院医歯薬・免疫、

³佐賀大・医・分子生命科学・生体機能制御学

C会場(第1会議室)

原虫症診断

13:12 ~ 14:12

座長：所 正治（金沢大・院医・寄生虫）

1C-01 LAMP 法と MinION を組み合わせた原虫検出法の開発

○今井 一男^{1,2}、樽本 憲人^{3,4}、山岸 潤也⁵、前崎 繁文^{3,4}、前田 卓哉^{4,6}

¹防医大・医・感呼内、²陸自・対特衛、³埼玉医大・医・感染症、

⁴埼玉医大・医・臨床感染症センター、⁵北大・人獣、⁶埼玉医大・医・微生物

- 1C-02 シトクロム c 酸化酵素サブユニット I 遺伝子を標的とした PCR による新規トキソプラズマ症診断法の検討
○馮 雪、Kexin Li、野呂瀬一美、彦坂 健児
千葉大・医・感染生体防御
- 1C-03 PURE/LAMP, a simple and rapid method for DNA extraction and detection, was highly sensitive for malaria diagnosis with clinical samples
○Jeanne Perpetue Vincent^{1,2}、駒木-安田加奈子¹、川合 覚³、狩野 繁之^{1,2}
¹国立国際医療研究センター、²筑波大院・人間総合科学・生命システム医学、
³獨協医科大学・熱帯病寄生虫病学
- 1C-04 マラリア顕微鏡検査技師の職務満足感：フィリピン・パラワン州における混合断面研究
○松本-高橋エミリー¹、Tongol-Rivera Pilarita²、Elena A. Villacorte²、Ray U. Angluben³、
神馬 征峰⁴、狩野 繁之¹
¹国立国際医療研究センター・熱帯医学・マラリア研究部、
²Dept. of Parasitol., College of Public Health, Univ. of the Philippines Manila, the Philippines、
³KLM/Pilipinas Shell Foundation, Inc, Palawan, the Philippines、
⁴東大院・医学系研究科・国際地域保健学教室
- 1C-05 Preparation of a uniform monolayer of Giemsa-stained red blood cells on hydrophilic-treated plastic plates for malaria diagnosis
○橋本 宗明、山村 昌平、坂本 寛和、田中 正人、八代 聖基、梶本 和昭、片岡 正俊
産総研・健康工学

腸管寄生虫応答 I

14:12 ~ 14:48

座長：長田 良雄（産業医大・医・免疫学・寄生虫）

- 1C-06 劇症型アニサキス症における病態形成メカニズムの検証
○水上 一弘¹、飛弾野真也²、伊藤 秀幸²、神山 長慶²、相馬 渉³、阿部 寿徳³、
勝田 真琴⁴、安部 高志⁴、永井 敬之⁴、後藤 康彦⁵、井上 邦光⁶、大場 一生⁷、
卜部 繁俊⁸、吉田 亮⁹、大仁田 賢¹⁰、村上 和成¹、小林 隆志²
¹大分大・医・消化器内科、²大分大・医・感染予防、³有田胃腸病院・消化器内科、
⁴鶴見病院・消化器内科、⁵新別府病院・消化器内科、⁶アルメイダ病院・消化器内科、
⁷諫早総合病院・消化器内科、⁸長崎原爆病院・消化器内科、
⁹佐世保市総合医療センター・消化器内科、¹⁰長崎大・医・消化器内科
- 1C-07 小形糸虫の成虫に対する防御機構
○渡邊 直熙¹、石渡 賢治¹、烏山 一²、浅野 和仁³
¹慈恵医大・熱帯医学、²東医歯大・免疫アレルギー、³昭和大・生理
- 1C-08 消化管寄生線虫の再感染防御における腸管粘膜バリアー
○石渡 賢治
慈恵医大・熱帯医学

腸管寄生虫応答 II

14:48 ~ 15:24

座長：小林 隆志（大分大・医・感染予防医学）

- 1C-09 IL-33-dependent resistance to *Nippostrongylus brasiliensis* infection in *Strongyloides venezuelensis*-experienced mice
○安田 好文、松本 真琴、中西 憲司、善本 知広
兵庫医大・免疫

1C-10 Type 2 innate lymphoid cells exacerbate severe amebic liver abscess in mice

○中村 梨沙^{1,2}、デロアール シャルミナ^{1,2}、茂呂 和世³、濱野真二郎^{1,2}
¹長崎大・熱研・寄生虫、²長崎大・医歯薬院・リーディングプログラム、
³理研・IMS・自然免疫システム

1C-11 ウガンダ国の熱帯熱マラリア患者において腸内細菌叢の変化が起こる

○谷口 委代^{1,2}、宮内 栄治³、Alex Olia¹、長安 英治⁴、Katuru Osbert⁵、鈴江 一友¹、
今井 孝¹、下川 周子¹、大西 里咲¹、E.I. Odongo-Aginya⁵、Nirianne Palacpac⁶、
丸山 治彦⁴、木村 英作⁶、美田 敏宏⁷、大野 博司³、堀井 俊宏⁶、久枝 一¹
¹群大・院医・国際寄生虫病学、²群大・院医・医学教育センター、
³理研・統合生命医科学研究センター、⁴宮崎大・医・寄生虫、⁵グル大・医、
⁶阪大・微研・分子原虫学、⁷順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学

原虫症のマネジメント I

15:24 ~ 16:00

座長：井上 信一（杏林大・医・感染症・寄生虫）

1C-12 Azithromycin as a candidate remedy for *Trypanosoma congolense* infection

○Nthatsi Molefe¹、菅沼 啓輔^{1,2}、玄 学南¹、井上 昇³
¹帯畜大・原虫研、²帯畜大・グローバルアグロメディシン研究セ、³帯畜大

1C-13 マラリアの臨床像、重症化危険因子の検討

○高谷 紗帆、片浪 雄一、山元 佳、忽那 賢志、竹下 望、早川佳代子、
加藤 康幸、金川 修造、大曲 貴夫
国立国際医療研究センター・国際感染症センター

1C-14 パプアニューギニアにおける抗マラリア薬剤耐性に関する疫学研究

○関原 誠、橘 真一郎、美田 敏宏
順天堂大学・医学部・熱帯医学・寄生虫病学

原虫症のマネジメント II

16:00 ~ 16:24

座長：長安 英治（宮崎大・医・寄生虫）

1C-15 ウガンダにおける熱帯熱マラリア原虫キニーネ感受性の実態

○山内 祐人¹、橘 真一郎¹、池田 美恵¹、関原 誠¹、Betty Balikagala²、
八代-櫻井美樹³、平井 誠¹、Nirianne M.Q. Palacpac⁴、木村 英作⁴、堀井 俊宏⁴、
美田 敏宏¹
¹順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター、
³東京女子医大・医・国際環境熱帯医学、⁴大阪大・微研・分子原虫学

1C-16 ウガンダにおける *in vivo* 薬剤耐性試験および RSA を用いたアルテミシニン耐性疫学調査

○池田 美恵¹、橘 真一郎¹、山内 祐人¹、Mary Auma²、関原 誠¹、森 稔幸¹、
平井 誠¹、Nirianne M.Q. Palacpac³、木村 英作³、Emmanuel Aginya⁴、堀井 俊宏³、
美田 敏宏¹
¹順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学、²セントメアリーズラチョー病院、
³阪大・微研・分子原虫学、⁴グル大・医

大会第2日目 5月29日(月)

A会場(講堂)

原虫の疫学 I

9:00 ~ 9:36

座長：松本 芳嗣 (東大・院農・応用免疫)

2A-01 エクアドル共和国におけるリーシュマニア症の広域分子疫学調査

○加藤 大智¹、Eduardo Gomez²、Lenin Velez²、三森 龍之³、橋口 義久²

¹自治医科大・医・医動物学、²エクアドル・カトリカ大・熱帯医学、

³熊本大・生命科学・病原生物学

2A-02 ネパールのヒトとマカクにおける腸管寄生アメーバの探索

Kishor Pandey¹、○吉田菜穂子²、垣野あずみ³、牧内 貴志³、小林 正規²、

Mukesh Chalise⁴、Basu Pandey¹、岩田 敏²、橘 裕司³

¹Everest International Clinic and Research Center、²慶應義塾大学医学部、³東海大学医学部、

⁴Tribhuvan University

2A-03 インドネシアの農村地域における腸管寄生原虫罹患率の季節変動

○所 正治¹、Syafuruddin Din²

¹金沢大・院医・寄生虫感染症制御学、²Eijkman Inst. for Mol. Biol., Indonesia

原虫の疫学 II

9:36 ~ 10:12

座長：彦坂 健児 (千葉大院・医・感染生体防御)

2A-04 腸管試料の遺伝子解析に基づくウシコクシジウム原虫の種別寄生部位の同定

○大坪 大亮¹、金森 眞紀¹、大脇 啓嗣²、柳井 徳磨²、多田 千佳¹、福田 康弘¹、
中井 裕¹

¹東北大・院・農学、²岐阜大・応用生物科学

2A-05 北海道東部のエゾシカに寄生する *Sarcocystis* 属原虫の終宿主動物の探索

○入江 隆夫¹、浦口 宏二¹、高井 伸二²、八木 欣平¹

¹北海道立衛生研究所・感染症・医動物、²北里大・獣・獣医衛生

2A-06 山口市内に生息するコイならびにギンブナの鰓にシスト形成する4種の *Myxobolus* spp. (Myxosporaea: Bivalvulida)

○加藤 英悟、笠井 亨浩、柳田 哲矢、佐藤 宏

山口大・獣医・寄生虫

2A-07 インドネシアの熱帯熱マラリア原虫の薬剤感受性と遺伝子解析

Sukmawati Basuki^{1,2}、Fitriah²、Petronella M Risamasu³、Kasmijati⁴、Pancawati Ariami⁵、Sugeng Riyanto⁶、Ari Hidayat⁷、Dewi Susilowati⁸、Iskandar⁹、Budi Armika⁹、Budiono¹、Yoes P Dachlan¹、神原 廣二¹⁰、○上村 春樹¹⁰

¹Fac. of Med., Univ. Airlangga, Indonesia、²Inst. of Trop. Disease, Univ. Airlangga, Indonesia、

³Disease Control of Health Office, Jayapura, Papua, Indonesia、

⁴UPTD, Seruyan, Middle Kalimantan, Indonesia、

⁵Health Dept., Lombok, West Nusa Tenggara, Indonesia、

⁶Dept. of Health, Banjar, South Kalimantan, Indonesia、

⁷Arifin Hospital, Pekanbaru, Riau, Indonesia、

⁸Fac. of Public Health, Univ. of Gorontalo, Indonesia、

⁹Dept. of Health, West Nusa Tenggara, Indonesia、¹⁰長崎大・熱研・原虫学

2A-08 Genetic analysis of *Plasmodium malariae* and *Plasmodium ovale* from asymptomatic adolescents in South-East Nigeria

○Richard Culleton¹、Ernest Medard¹、金子 明²、Emmanuel Orimadegun Adebola³、Abiodun Abdulraheem Muhydeen^{1,4}

¹長崎大・熱研・病理マラリア、²大阪市大・院医・寄生虫、³イバダン大・医・小児健康、

⁴イバダン大病院・小児科

2A-09 Ungulate malaria parasites

Thomas J. Templeton^{1,2}、○Asada Masahito¹、Jiratanh Montakan³、Sohta A. Ishikawa^{4,5}、Sonthaya Tiawsirisup⁶、Thillaiampalam Sivakumar⁷、Boniface Namangala⁸、Mika Takeda¹、Kingdao Mohkaew³、Supawan Ngamjituea³、Noboru Inoue⁷、Chihiro Sugimoto⁹、Yuji Inagaki^{5,10}、Yasuhiko Suzuki⁹、Naoaki Yokoyama⁷、Morakot Kaewthamasorn⁶、Osamu Kaneko¹

¹長崎大・熱研・原虫学、²Dept. of Microb and Immunol, Weill Cornell Med. Sch.、

³Parasitol. Sec., Nat. Ins. of Anim. Health, Dept. of Livestock Dev.、⁴筑波大・生命環境科学、

⁵筑波大・計算科学セ、

⁶The Vet. Parasitol. Unit, Dept. of Patho., Fac. of Vet. Sci, Chulalongkorn Univ.、

⁷帯畜大・原虫病セ、⁸Dept of Paraclin. Stu., Sch. of Vet. Med., Univ. of Zambia、⁹北大・人獣セ、

¹⁰筑波大・院・生命環境科学

吸虫の疫学 I

2A-10 肺吸虫待機宿主としてのニホンジカの重要性

○吉田 彩子¹、松尾加代子^{2,3}、長安 英治⁴、森部 絢嗣⁵、野中 成晃¹、丸山 治彦⁴

¹宮崎大・農・獣医寄生虫病、²岐阜県飛騨家保、³岐阜大・応用生物、⁴宮崎大・医・寄生虫、

⁵岐阜大・応用生物・野生動物管理学研究センター

2A-11 シカ肉の生食による肺吸虫感染の可能性

○松尾加代子^{1,2}、上津ひろな³、可知 正行⁴、粕谷 志郎⁵、森部 絢嗣²、高島 康弘²、吉田 彩子⁶、阿部仁一郎⁷、ウイラチャイ サイジュウタ⁸、吾妻 健⁹

¹飛騨家保、²岐阜大、³岐阜県保健医療課、⁴岐阜県食肉衛生検査所、⁵みどり病院、⁶宮崎大、

⁷大阪市環科研、⁸マハサラカム大、⁹高知大

吸虫の疫学 II

14:24 ~ 15:00

座長：佐藤 宏 (山口大・共獣医・寄生虫)

2A-12 山梨県産野生ニホンジカの寄生蠕虫相調査

○井上 健¹、平 健介¹、清水 秀樹²、黄 鴻堅¹

¹麻布大・獣医・寄生虫、²山梨県峡南保健所

2A-13 南米エクアドルで住民から検出された肝吸虫 *Amphimerus* sp. に関する検討

○杉山 広¹、柴田 勝優¹、川上 泰²、森嶋 康之¹、山崎 浩¹、熊澤 秀雄³、
高木 秀和⁴、板垣 匡⁵、カルボピーニャ マヌエル⁶

¹感染研・寄生動物、²麻布大・生命環境科学、³高知大・医・寄生虫、⁴愛知医大・医・感染免疫、
⁵岩手大・農・獣医寄生虫、⁶アメリカ大・医・エクアドル

2A-14 ウグイの眼に寄生していた *Diplostomum* 属吸虫のメタセルカリア

○小川 和夫¹、小松 典彦²、伊藤 直樹³

¹目黒寄生虫館、²長野水試、³東大院・農

線虫・糸虫の疫学 I

15:00 ~ 15:48

座長：野中 成晃 (宮崎大・農・獣医寄生虫病)

2A-15 Trematode cercariae found in *Lymnaea* snails from farming areas in Thua Thien Hue province, Vietnam

○Thi Nga Nguyen^{1,3}、Cong Thinh Le²、Quang Vui Tran³、松本 安喜¹

¹東大・院農・国際動物資源科学、²Inst. Biotechnol., Hue Univ.、

³Grad. Sch. Agricult. Forestry, Hue Univ.

2A-16 ラオス・サワナケート県における3種の *Taenia*; *Taenia solium*, *T. saginata* and *T. asiatica* 感染の発生

○サトウ マルセロ オオタケ¹、サトウ 恵²、Tiengkham Pongvongsa³、
Surapol Sanguankiat⁴、Tipparayay Yoonuan⁴、Kounavang Senchan⁵、Jitra Waikagul⁴、
迫 康仁⁶、柳田 哲矢⁷、川合 覚¹、伊藤 亮⁶、岡本 宗裕⁸、門司 和彦⁹

¹獨協医科大学熱帯病寄生虫病学講座、²新潟大学大学院保健学研究科、

³Station of Malariaology, Parasitology, and Entomology of Savannakhet Province, Lao PDR、

⁴Department of Helminthology, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand、

⁵National Institute of Public Health, Ministry of Health, Vientiane, Lao PDR、

⁶旭川医科大学寄生虫病学講座、⁷山口大学共同獣医学部、⁸京都大学霊長類研究所、

⁹熱帯医学・グローバルヘルス研究科

2A-17 2016年に発生した旋毛虫による集団食中毒事例について

○森嶋 康之¹、杉山 広¹、山崎 浩¹、八木田健司¹、佐藤 陽介²、綿引 一裕²、
土井 幹雄²、坂本 陽³、武藤 和弘³、本多めぐみ³、海野 友梨⁴、深谷 節子⁴、
小林 雅枝⁴

¹感染研・寄生動物、²茨城県水戸保健所、³茨城県つくば保健所、⁴茨城衛研

2A-18 Surveys of the porcine trichinellosis and cysticercosis in Nay Pyi Taw, Myanmar

○Khaing Tin Aye^{1,2}、Lin Kyaw San¹、Wai Soe Soe¹、Htut Ye²、Bawm Saw¹、
Htun Lat Lat¹、Nakao Ryo³、Katakura Ken³

¹Department of Pharmacology and Parasitology, University of Veterinary Science, Yezin, Nay Pyi Taw, Myanmar、

²Department of Veterinary and Slaughterhouses, Nay Pyi Taw Development Committee, Nay Pyi Taw, Myanmar、

³Laboratory of Parasitology, Graduate School of Veterinary Medicine, Hokkaido University, Japan

線虫・糸虫の疫学 II

15:48 ~ 16:36

座長：杉山 広 (感染研・寄生動物)

- 2A-19 スリランカにおけるリンパ系フィラリア症未調査地を対象とした省力的疫学調査
○高木 秀和¹、Mohammad A. Rahman²、Thishan C. Yahathugoda²、長岡 史晃¹、
Mirani V. Weerasooriya²、伊藤 誠¹
¹愛知大・医・感染・免疫、²ルフナ大・医・寄生虫
- 2A-20 沖縄本島におけるヤギ、生野菜の人獣共通感染性蠕虫の現状把握
○池田 董¹、Marcello Otake Sato²、竹内 理恵³、安孫子陽一¹、Yoonuan Tippayarat⁴、
Adisakwattana Poom⁴、Waikagul Jitra⁴、小林 潤⁵、サトウ 恵¹
¹新潟大・医・大学院保健学研究科、²独協医科大・医学、³長大・熱研、
⁴Fac. of Trop. Med., Mahidol Univ.、⁵琉大・医・保
- 2A-21 積極的なエキノコックス症対策 - キツネに対する小面積地域のベイト散布 -
浦口 宏二¹、孝口 裕一¹、入江 隆夫¹、坪田 敏男²、○八木 欣平¹
¹北海道衛研、²北大・獣医・野生動物学
- 2A-22 新潟県におけるマダニ生息分布調査
○サトウ 恵¹、池田 董¹、渡辺 幸三²、Maria Angenica F. REGILME²、
Marcello Otake Sato³、新井 礼子⁴、田村 務⁴
¹新潟大院・保、²愛媛大・工・環境建設・保全生態、³獨協医大・熱帯病寄生虫病学、
⁴新潟県保環研・ウイルス

B会場(小講堂)

オミクス解析 I

9:00 ~ 9:36

座長：中西 雅之 (松山大・薬・生化)

- 2B-01 *Ascaris suum* 成虫および *Caenorhabditis elegans* ミトコンドリアのプロテオーム解析：
二次元ゲル電気泳動法とショットガン質量分析法
○高宮信三郎^{1,2}、数野 彩子³、峯木 礼子³、三浦 芳樹³、美田 敏宏¹
¹順天堂大・院医・熱帯医学・寄生虫学、²国立感染研・寄生動物、
³順天堂大・院医・研究基盤センター・生体分子
- 2B-02 熱帯熱マラリア原虫セントロメアプラスミドを用いた新規薬剤耐性遺伝子同定法の開発
○岩永 史朗、加藤 知美、油田 正夫
三重大・医・医動物
- 2B-03 単為生殖を行う線虫における Major Sperm Protein (MSP) の解析
○日野明紀菜¹、鴻巣明日香^{1,2}、菊地 泰生³、太田 伸生¹
¹東京医科歯科・医・国際環境寄生虫、²文京学院大・保健医療・臨床検査、
³宮崎大学・医・寄生虫

オミクス解析 II

9:36 ~ 10:12

座長：松林 誠（大阪府大・生命環境・獣医国際防疫）

2B-04 日本におけるトキソプラズマのタイピングと病原性

○福本 隼平^{1,2}、山野安規徳^{1,2}、松原 立真^{1,2}、竹内史比古³、喜屋武向子⁴、正谷 達膳⁵、
松尾 智英⁵、村上 麻美⁶、高島 康弘⁶、永宗喜三郎^{2,7}

¹筑波大・院・生物環境科学、²感染研・寄生動物部、

³国立国際医療研・遺伝子診断治療開発研究、⁴沖縄県・衛生環境研、⁵鹿児島大・共同獣医、

⁶岐阜大・応用生物、⁷筑波大・生命環境系

2B-05 *Echinococcus multilocularis* 根室株の虫卵感染マウスにおけるマイクロ RNA 解析

○今里 裕平¹、中尾 亮¹、入江 隆夫²、孝口 裕一²、松本 淳³、八木 欣平²、
片倉 賢¹

¹北大・獣医・寄生虫、²道衛研・感染症・医動物、³日大・生物資源・医動物

2B-06 Detection of selective sweeps using Linkage Group Selection in vitro

○Axel Martinelli^{1,4}、Hayashida Kyoko²、Sugimoto Chihiro²、Kawai Naoko²、
Yamagishi Junya²、Culleton Richard³、Pain Arnab^{1,4}

¹Global Institution for Collaborative Research and Education, Global Station for Zoonosis
Control, Hokkaido University、²Research Centre for Zoonosis Control, Hokkaido University、

³Malaria Unit, Department of Pathology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University、

⁴Biological and Environmental Sciences and Engineering (BESE) Division, King Abdullah
University of Science and Technology (KAUST), S.Arabia

分化

13:24 ~ 14:00

座長：中野由美子（感染研・寄生動物）

2B-07 雄特異的 osmiophilic body タンパク質 PyGM75 の生殖体・接合体形成過程における役割の解析

○橘 真由美¹、鳥居 本美¹、須藤 萌²、坪井 敬文³、石野 智子¹

¹愛媛大・PROS・寄生虫、²愛媛大院・医・分子寄生虫、³愛媛大・PROS・マラリア研究

2B-08 PbCap494 蛋白質は蚊中腸内の oocyst 形成初期に関与する

木村 勇太¹、杉山 真言²、佐々木英恵^{1,3}、○篠井 宏実¹

¹北里大・獣医・寄生虫、²北里大・獣医・解剖、³ホクサン(株)

2B-09 マラリア原虫スポロゾイトの唾液腺および肝細胞侵入に関与する新規膜タンパク質の同定

Sirasate Bantuchai^{1,2}、野崎 守^{1,2}、Amporn Thongkukiatkul³、Natcha Lorsuwannarat¹、
橘 真由美^{1,2}、松岡 和弘^{1,2}、坪井 敬文⁴、鳥居 本美^{1,2}、○石野 智子^{1,2}

¹愛媛大・医・分子寄生虫、²愛媛大・PROS・寄生病原体学、

³Dept. of Biology, Burapha Univ. Thailand、⁴愛媛大・PROS・マラリア学

実験手法の開発

14:00 ~ 14:36

座長：高島 英造（愛媛大・PROS・マラリア）

2B-10 *Hymenolepis microstoma* の潜在的自家感染能

○佐々木瑞希

旭川医大・医・寄生虫

2B-11 熱帯熱マラリア原虫のメロゾイト放出における阻害評価法の確立

○矢幡 一英、麻田 正仁、金子 修
長崎大・熱研・原虫学

2B-12 マラリア原虫有性生殖の透視観察法の開発

○森 稔幸、平井 誠、美田 敏宏
順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学

感染メカニズム I

14:36 ~ 15:12

座長：熊谷 貴（東京医科歯科大・院・国際環境寄生虫病）

2B-13 *Plasmodium yoelii* erythrocyte-binding-like (EBL) 遺伝子は赤血球侵入に必須である

○外川 裕人^{1,2}、麻田 正仁^{1,2}、矢幡 一英²、金子 修^{1,2}
¹長崎大・医歯薬・リーディングプログラム、²長崎大・熱研・原虫学

2B-14 マラリア原虫細胞侵入リガンド輸送ドメインのステージ特異性

○大槻 均、野瀬麻悠香、近藤 陽子
鳥取大・医・医動物

2B-15 The malaria parasite RhopH complex serves dual functions in erythrocyte invasion and nutrient uptake

○伊藤 大輔、Marc Schureck、Sanjay Desai
Lab. of Malaria and Vector Research, NIAID, NIH

感染メカニズム II

15:12 ~ 15:48

座長：西川 義文（帯畜大・原虫研）

2B-16 赤血球内タンパク質輸送に関わる新規デンスグラニュールタンパク質 PV1 の機能解析

○森田 将之¹、高島 英造¹、長岡ひかる¹、Bernard N. Kanoi¹、伊藤 大輔²、
Amporn Thongkukiatkul³、李 智媛⁴、徳永 和明⁵、飯村 忠浩⁴、鳥居 本美⁶、
坪井 敬文¹
¹愛媛大・プロテオサイエンスセンター・マラリア研究部門、
²米国国立アレルギー・感染症研究所、³ブラバ大学・理学部・生物学、
⁴愛媛大・プロテオサイエンスセンター・バイオイメージング部門、
⁵ニコンインステック株式会社、⁶愛媛大・プロテオサイエンスセンター・寄生病原体学部門

2B-17 熱帯熱マラリア原虫感染赤血球における SBP1 インタラクトーム解析

○高野 量¹、秦 裕子²、尾山 大明²、加藤健太郎¹
¹帯畜大・原虫研、²東大・医科研・疾患プロテオミクス

2B-18 Identification of *Babesia bovis* proteins expressed on the surface of infected erythrocytes

○ハキミ ハッサン¹、宮崎 真也¹、坂口美亜子²、金子 修¹、麻田 正仁¹
¹Dept. of Protozool, NEKKEN, Nagasaki Univ.、
²Central Laboratory, NEKKEN, Nagasaki Univ.

感染メカニズム Ⅲ

15:48 ~ 16:12

座長：案浦 健（感染研・寄生動物）

2B-19 ヒト細胞におけるトキソプラズマの宿主免疫回避機構の解明

○伴戸 寛徳、馬 知秀、李 英愛、坂口 直哉、笹井 美和、山本 雅裕
阪大・微研・感染病態

2B-20 ウシロタウイルス共感染時におけるクリプトスポリジウムの病原性の変化

○村越 ふみ¹、伊藤めぐみ²、芝野 健一²、加藤健太郎¹
¹帯畜大・原虫研、²帯畜大・臨床獣医

蠕虫症診断

16:12 ~ 16:48

座長：新井 明治（香川大・医・国際医動物）

2B-21 Development of nested multiplex PCR assay for the detection of *T. canis*, *T. cati* and *A. suum* contamination in meat and organ meats

○王 珍珍¹、Yen T.H. Nguyen²、早田 弥生³、野中 成晃³、丸山 治彦¹、吉田 彩子³
¹Div. of Parasitol., Dept. of Infect. Dis., Fac. of Med., Univ. of Miyazaki,
²Lab. of Vet. Parasit. Dis., Grad. Schl. of Med. & Vet. Med., Univ. of Miyazaki,
³Lab. of Vet. Parasit. Dis., Dept. of Vet.Sci., Fac. of Agr., Univ. of Miyazaki

2B-22 Secretory enzymes as diagnostic antigens for the detection of human schistosomiasis

○Jose Ma. M. Angeles¹、後藤 康之²、Lydia R. Leonardo³、Kharleezelle J. Moendeg¹、
Minh-Anh Dang-Trinh¹、Adian Macalanda¹、桐木 雅史⁴、Pilarita T. Rivera³、
Elena A. Villacorte³、菅沼 啓輔¹、千種 雄一⁴、Raymond L. Houghton⁵、河津信一郎¹
¹帯畜大・原虫研、²東大農院・応用免疫学、³フィリピン大・寄生虫学、
⁴獨協医大・熱帯病寄生虫病、⁵インバイオスインターナショナル

2B-23 Development of LAMP assays for the molecular detection of canine taeniids in Tibetan rural area

○Kai Feng¹、Wei Li²、Zhihong Guo²、Hong Duo²、Cheng Tie³、Rijie E³、Changqin Xiao³、
吉田 彩子¹、堀井洋一郎¹、野中 成晃¹
¹宮崎大学医学獣医学総合研究科獣医寄生虫病学研究室、
²中国青海省青海大学畜牧獣医科学院人獣共患病研究室、³中国青海省興海県獣医站

C会場(第1会議室)

マラリアワクチン開発 I

9:00 ~ 9:36

座長：木村 大輔（長崎大・院医歯薬・免疫）

2C-01 Biomarker identification in *Plasmodium falciparum* gametocytes for high infectivity in mosquitoes

○三浦 憲豊、Tim Burton、Bingbing Deng、Luwen Zhou、Ababacar Diouf、Thao Pham、
Carole Long
Lab. Malaria Vector Res., NIAID, NIH

2C-02 ウガンダ共和国における熱帯熱マラリア抵抗性と相関する原虫抗原のゲノム網羅的な免疫スクリーニング

○高島 英造¹、カノイバーナード¹、森田 将之¹、パラックパック ニリアン²、
ンテゲ エドワード¹、バリカガラ ベティ¹、堀井 俊宏²、坪井 敬文¹

¹愛媛大・プロテオサイエンス・マラリア研究、²阪大・微研・分子原虫学

2C-03 熱帯熱マラリアワクチン候補分子 R1PR の CyRPA との相互作用領域の同定

○長岡ひかる、高島 英造、ンテゲ エドワード、坪井 敬文

愛媛大・プロス・マラリア

マラリアワクチン開発 II

9:36 ~ 10:12

座長：東岸 任弘（阪大・微研・分子原虫）

2C-04 *P. falciparum* multistage viral-vectored vaccines effective for both sporozoite protection and transmission blocking

○Asrar Alam¹、Mitsuhiro Iyori¹、Kunitaka Yoshida²、Yenni Yusuf¹、Katarzyna A Sala³、
Andrew M Blagborough³、Eizo Takashima⁴、Takafumi Tsuboi⁴、Shigeto Yoshida¹

¹Lab. of Vaccinol. And Applied Immunol., Sch. of Pharmacy, Kanazawa Univ.,

²Kanazawa Univ. Grad. Sch. of Med. Sc., ³Dept. of Life Sc., Imperial College London,

⁴Div. of Malaria Res., Proteo-Science Center, Ehime Univ.

2C-05 Protective efficacy of viral vectored *Plasmodium falciparum* malaria vaccines by the prime-boost immunization regimen

○伊従 光洋¹、吉田 邦高^{1,2}、Salman Ahmed³、Dulal Pawan³、Khan Shahid⁴、
Biswas Sumi³、所 正治²、Andrew Blagborough⁵、Adrian Hill³、吉田 栄人¹

¹金沢大・薬・ワクチン・免疫科学、²金沢大・院医・寄生虫感染症制御学、

³The Jenner Institute, Univ. of Oxford、⁴Leiden Malaria Research Group、

⁵Dept. of Life Science, Imperial College London

2C-06 The study of cross-protection conferred by *Babesia microti* against a lethal *Plasmodium chabaudi* challenge infection in mice

○Artemis Efstratiou、Guanbo Wang、久米 愛子、鈴木 宏志、玄 学南

帯畜大・原虫研

抗寄生虫薬開発 I

13:24 ~ 14:12

座長：見市 文香（佐賀大・医・免疫）

2C-07 *In vitro* and *in vivo* anti-leishmanial activities of synthetic endoperoxides, N-89 and N-251

○Kofi Dadzie Kwofie¹、佐藤 開²、三條場千寿²、加賀谷 渉¹、日野明紀菜¹、
下河原理江子¹、大橋 光子¹、金 恵淑³、松本 芳嗣²、太田 伸生¹

¹医科歯科大・院・国際環境寄生虫、²東大・院農・応用免疫学、³岡大・薬・国際感染症制御

2C-08 *Cryptosporidium parvum* における呼吸鎖関連酵素の特性解析

高橋 和瑛¹、○松林 誠^{1,2}、稲岡ダニエル 健³、八田 岳士⁴、寺本 勲²、金子 明²、
所 正治⁵、古家 優¹、谷 浩行¹、辻 尚利⁴、笹井 和美¹、北 潔³

¹大阪府大・生命環境、²大阪市大・院医・寄生虫、³長崎大・熱帯医学・グローバルヘルス、

⁴北里大・医・寄生虫、⁵金沢大・院医・寄生虫感染症制御

- 2C-09 A synthetic compound, 1, 2, 6, 7-tetraoxaspiro [7.11] nonadecane causes significant transcriptional and proteomic changes in *S. mansoni*
 ○Emmanuel A Blay¹、山邊 将史¹、下河原理江子¹、日野明紀菜¹、金 惠淑²、佐藤 聡^{2,3}、平本 晃子²、熊谷 貴¹、太田 伸生¹
¹医科歯科大・院・国際環境寄生虫、²岡大・薬・国際感染症制御、³東京理大・薬・生化学
- 2C-10 抗トリパノソーマ薬アスコフラノンの臨床応用へむけた包括的薬剤開発
 ○城戸 康年^{1,2,3}、稲岡健ダニエル³、松崎 素道³、志波 智生⁴、原田 繁春⁴、齋本 博之⁵、山本 雅一¹、北 潔³
¹株式会社ミトコンドリア研究所、²大分大学・医・環境予防医学、³長崎大学・熱帯医学・グローバルヘルス、⁴京都工繊大学・院・応用生物、⁵鳥取大学・院工学・物質工学

抗寄生虫薬開発 II

- 14:12 ~ 14:48 座長：金 惠淑（岡山大・薬・国際感染症制御）
- 2C-11 Exploring amino acid modification of nanoparticle surface for selective anti-parasite action and enhanced biocompatibility
 ○Oluyomi Stephen Adeyemi、加藤健太郎
 帯畜大・原虫研
- 2C-12 希少糖 D- アロースはハマダラカ体内でマラリア原虫の発育分化を抑制する
 ○新井 明治^{1,2}、平井 誠³、田中 健Q¹、寺中 正人¹、徳田 雅明^{2,4}
¹香川大・医・国際医動物学、²香川大・国際希少糖研究教育機構、³順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学、⁴香川大・医・細胞情報生理学
- 2C-13 漢方薬ライブラリーを用いた抗熱帯熱マラリア作用を示す新規薬剤のスクリーニング
 ○野中 基弘、高野 量、村田 優穂、加藤健太郎
 帯畜大・原虫病

寄生虫症の流行 I

- 14:48 ~ 15:24 座長：矢野 和彦（国際医療研究センター・研究所）
- 2C-14 Evaluation of GM6 based ELISA and ICT for horse trypanosomosis in an outbreak farm in Mongolia
 ○Davaasuren Batdorj^{1,2}、Amgalanbaatar Tovuu²、Simon Peter Musinguz¹、菅沼 啓輔^{1,3}、Otgonsuren Davaajav²、Ehab Mossaad¹、Battur Banzragch²、Battsetseg Badgar²、玄 学南¹、井上 昇⁴
¹帯畜大・原虫研、²モンゴル国立獣医学研究所、³帯畜大・グローバルアグロメディシン研究セ、⁴帯畜大
- 2C-15 牛のkokシジウム関与出血性腸炎における *Eimeria* と腸管病原性微生物の混合感染状況の調査
 ○平川 恵太¹、桐野 有美²、土赤 忍^{3,4}、目堅 博久²、大松 勉^{3,4}、水谷 哲也^{3,4}、吉田 彩子¹、野中 成晃^{1,2}
¹宮崎大・農・獣医・獣医寄生虫病学、²宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター、³東京農工大・国際家畜感染症防疫研究教育センター、⁴岐阜大院連獣
- 2C-16 イヌ、ヒツジ、およびウシにおける *Babesia odocoilei* 様原虫の HSP70 遺伝子の検出
 ○伊藤みのり、額田 優花、井口 愛子、内田 直宏、小林 沙織、佐藤れえ子、山崎 真大
 岩手大・農・小動物内科

2C-17 セイロン鉤虫症は海外渡航時に注意すべき感染症である—日本人 4 症例の検討—

○吉川 正英¹、王寺 幸輝¹、中村-内山ふくみ¹、有蘭 直樹²、山田 稔²、赤松 尚明³、
楊 孝治³、賀屋 大介⁴、中谷 敏也⁴、菊池 英亮⁴、片浪 雄一⁵、佐藤 公俊⁵、
眞木 良祐⁶、宮里 悠佑⁶、大場雄一郎⁶、平位 暢康⁷、三笠 桂一⁷

¹奈良医大・病原体感染防御医学、²京都府立医大・感染病態学、

³近江八幡市立総合医療センター・消化器内科、⁴奈良県立総合医療センター・消化器内科、

⁵市立奈良病院・感染制御内科、⁶大阪府立急性期総合医療センター・総合内科、

⁷奈良医大・感染症センター

2C-18 Intestinal parasitic infection: prevalence and risk factors for schoolchildren in Battambang, Cambodia

Chien-Wei Liao^{1,2,3}、○Chia-Kwung Fan^{1,2,3}、Toshio Naito⁴、Akiko Tsubouchi⁵、
Takeshi Nara⁶

¹Dept. of Mol. Parasitol. and Trop. Dis., Sch. of Med., Col. of Med., Taipei Med. Univ., Taiwan、

²Grad. Inst. of Med. Sci., Col. of Med., Taipei Med. Univ., Taiwan、

³Trop. Med. Div., Int. Master/PhD Program in Med., Col. of Med., Taipei Med. Univ., Taiwan、

⁴Dept. of Inf. Contr. Sci., Juntendo Univ. Sch. Med.、

⁵Res. Sup. Ctr., Juntendo Univ. Grad. Sch. Med.、

⁶Dept. of Trop. Med. Parasitol., Juntendo Univ. Sch. Grad. Med.

2C-19 中間宿主貝と住民の糞便を使用したメコン住血吸虫感染リスクマップ作成に向けた LAMP 法の適用

○熊谷 貴^{1,2}、石上 盛敏^{2,3,4}、山邊 将史^{1,2}、KEOMALAPHET Sengdeuane^{2,4}、
KHATTIGNAVONG Phonepadith^{2,4}、LORPHACAN Lavy^{2,4}、SOUNDALA Pheovaly^{2,4}、
HONGVANTHONG Bouasy^{2,5}、太田 伸生¹、Brey Paul T^{2,4}、狩野 繁之^{2,3,4}

¹医科歯科大・院・国際環境寄生虫病、

²SATREPS Project (JICA/AMED) for Parasitic Diseases in Lao PDR、

³国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部、⁴ラオスパスツール研究所、

⁵Center of Malariology, Parasitology and Entomology

組織寄生性原虫免疫 I

2C-20 *Toxoplasma gondii* 感染下における Toll-like receptor 2 欠損マウス脳細胞のトランスクリプトーム解析

○梅田 剛佑¹、田中 沙智²、山岸 潤也³、鈴木 穰⁴、西川 義文¹

¹帯畜大・原虫研、²信大・農・農学生命、³北大・人獣、⁴東大院・新領域

2C-21 アストロサイトの STAT1 シグナルは、トキソプラズマ脳炎のコントロールに重要である

○飛弾野真也¹、Christoph Konrad²、Daniel P. Beiting²、神山 長慶¹、佐知 望美¹、
小林 隆志¹、Hunter Christopher A.²

¹大分大・医・感染予防医学、²Dep. of Pathobiol., School of Vet. Med., Univ. of Pennsylvania

2C-22 マウスのうつ様症状におけるトキソプラズマ感染に対する宿主防御免疫の関与

Motamed Mahmoud^{1,2}、Ragab Fereig¹、○西川 義文¹

¹帯畜大・原虫研、²Sohag 大・獣医

16:36 ~ 17:00

座長：後藤 康之（東大・院農・応用免疫）

2C-23 眼トキソプラズマ症：マウスモデルにおける前房水中サイトカイン・ケモカイン解析—髄液および血清との比較

○Kexin Li、馮 雪、彦坂 健児、野呂瀬一美
千葉大・院・医・感染生体防御学

2C-24 分泌型抗体欠損は内蔵型リーシュマニア症の抵抗性に寄与する

○Piyarat Srinontong、呉 志良、前川 洋一
岐阜大・院医・寄生虫

一般ポスター（ポスター発表）

奇数番号：5月28日(日) 16:50～18:20

偶数番号：5月29日(月) 11:50～13:20

ポスター会場(ホール)

原虫の疫学等

- P1 *Giardia* に近縁な自由生活性鞭毛虫 *Dysnectes brevis* の MRO 機能の推測
井上 貴史¹、谷藤 吾朗²、神川 龍馬³、久米慶太郎¹、稲垣 祐司^{1,4}、○橋本 哲男^{1,4,5}
¹筑波大院・生命環境、²科博・動物、³京大院・人間・環境、⁴筑波大・計算科学セ、
⁵筑波大・生命環境系
- P2 都内で発生した粘液胞子虫が原因と考えられた有症事例
○鈴木 淳、村田 理恵、日向 綾子、新開 敬行、貞升 健志
都健安研・微生物
- P3 プンチョウに寄生する *Isospora lunaris* Tokiwa *et al.*, 2017 について
○常盤 俊大¹、小嶋 篤史²、池 和憲¹
¹日獣大・獣・寄生虫、²鳥と小動物の病院リトル・バード
- P4 モンゴル国放牧家畜および環境水を介した病原体伝播の検証
高田 萌¹、琴賀岡朋絵¹、バルダントマー²、○福田 康弘¹、中井 裕¹、多田 千佳¹
¹東北大・院・農学、²モンゴル農業大学
- P5 Detection and Identification of trypanosome species in tsetse flies by multiplex PCR and next-generation sequencing analysis
○ガイトマ アレックス、山岸 潤也、杉本 千尋
北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際協力・教育部門

吸虫の疫学・形態

- P6 カンボジアにおけるメコン住血吸虫症流行状況
○桐木 雅史¹、大前比呂思^{2,3}、Sinuon Muth^{3,4}、Virak Khieu⁴、千種 雄一¹
¹獨協医大・医・熱帯病寄生虫病、²獨協医大・医、³国立感染研・寄生動物、
⁴カンボジア保健省
- P7 シマヘビの吸虫 *Ochetosoma kansense* について
○巖城 隆¹、長谷川英男²、松尾加代子^{3,4}、中野 隆文⁵
¹目黒寄生虫館、²大分大・医・感染予防医学、³岐阜県飛騨家畜保健衛生所、
⁴岐阜大・応用生物科学・獣医寄生虫病学、⁵広島大・院教・自然システム

- P8 Nematodes in the digestive tracts of domestic ruminants in Uzbekistan
クチャボエフ アブドラヒム・E¹、アリモフ オイベック・O¹、カリモヴァ ロカトイ・R¹、
○浅川 満彦²
¹ウズベク科学アカデミー植物/動物遺伝子資源研、²酪農大・獣・感染/病理学
- P9 The prevalence of heartworm (*Dirofilaria immitis*) and its associated risk factors in dogs from Pyinmana township, Myanmar
○Aung Si Thu, Bawm Saw, Wai Soe Soe, Htun Lat Lat
Department of Pharmacology and Parasitology, University of Veterinary Science, Yezin, Nay Pyi Taw, Myanmar
- P10 西表島で得られた野生鳥類の寄生線虫保有状況
○金谷麻里杏¹、日名 耕司²、浅川 満彦¹
¹酪農大・獣医・感染/病理、²西表野生生物保護センター
- P11 マアジおよびサバ加工品におけるアニサキスの寄生状況と分子同定
○小林 由弥¹、常盤 俊大¹、杉山 広²、池 和憲¹
¹日獣大・獣・寄生虫、²国立感染研・寄生動物
- P12 Molecular characterization of *Anisakis* larvae (Nematoda: Anisakidae) from a Japanese patient
○Juan Jose Lauthier¹、荻野 慶隆¹、今村 京子¹、羽柴 基²、西原 利治²、是永 正敬¹
¹高知大学、医学部、寄生虫学、²高知大学、医学部、消化器内科学
- P13 RAPD 法を用いた *Anisakis simplex* 幼虫の分子疫学の検討
○小島夫美子、藤本 秀士
九大・医・保・検査
- P14 蛍光特性を示すアニサキス種の同定ならびに食品検査への応用
○近藤 雅¹、中谷 誠¹、飛弾野真也²、小林 隆志²
¹株式会社インダ 技術統括部 基幹開発課、²大分大学医学部 感染予防医学講座

分裂・増殖

- P15 Associated kinase of *Trypanosoma brucei* 14-3-3-1 (AKB1) の基質は Heat shock protein (HSP) である。
○井上 雅広、安田 幸一
久大・医・感染医・真微
- P16 赤痢アメーバの特殊化ミトコンドリアにおける分裂機構の解析
○牧内 貴志¹、Santos Herbert J.²、野崎 智義^{2,3}、橘 裕司¹
¹東海大・医・基礎医・生体防御、²感染研・寄生動物、³筑波大・院・生命環境
- P17 Loss of a doublecortin (DCX) -domain protein causes structural defects of the conoid, a tubulin-based organelle of *Toxoplasma gondii*
○長安 英治¹、Hwang Hwang²、Jun Liu³、John M Murray³、Ke Hu³
¹宮崎大・医・寄生虫、²Nikon Instruments、³Dept. of Biology, Indiana Univ.

- P18 Incorporation of extracellular glycerol into phospholipids by *Plasmodium falciparum* was associated with a higher parasite growth rate
 ○徳舩由樹¹、徳岡 涼美¹、浜野文三江²、田中健 Q⁵、エマニュエル バロゲン³、
 稲岡ダニエル・健³、河津信一郎⁴、北 潔³、清水 孝雄^{1,2}
¹東大・医・リピドミクス、²国立国際医療研究セ・脂質シグナリング、
³長崎大・院・熱医・グローバルヘルス、⁴帯広畜産大・原虫病研セ、⁵香川大・医・国際医動物
- P19 Opioid antagonist 及び artemisinin 誘導体による pyknosis を伴う熱帯熱マラリア原虫 の分化増殖アレスト
 ○朝日 博子¹、井上 信一¹、新倉 保¹、救仁郷圭祐²、鈴木 穰²、小林富美恵¹、
 仙道富士郎³
¹杏林大・医・感染症、²東京大・新領域・創成科学、³介護老人保健・みゆきの丘

感染・分化

- P20 *Entamoeba histolytica* と *Entamoeba dispar* の IgI レクチンの溶血活性比較研究
 ○加藤健太郎¹、牧内 貴志²、Xunjia Cheng²、橋 裕司²
¹長崎大・熱研・寄生虫、²東海大・医・基礎医
- P21 赤痢アメーバにおける α -amylase 輸送タンパク質の解析
 ○丸茂このみ^{1,2}、野崎 智義^{1,2}、津久井久美子¹
¹感染研・寄生動物、²筑波大・院・生命環境科学
- P22 寄生胞膜に着目した肝内型マラリア原虫 - 宿主間の分子相互作用の解明
 ○案浦 健¹、Rahel Wacker²、荒木 球沙^{1,3}、Chris J. Janse⁴、Shahid M. Khan⁴、
 Volker T. Heussler²、野崎 智義^{1,3}
¹感染研・寄生動物、²Inst. Cell Biol., Univ. Bern, Switzerland、³筑波大・院・生命環境、
⁴Dept. of Parasitol., Leiden Univ. Med. Center, Netherlands
- P23 *Plasmodium knowlesi* 感染赤血球のヒト血管内皮細胞への接着能力
 ○坂口美亜子¹、Amuza Byaruhanga Lucky^{2,3}、山岸 潤也⁴、片貝 祐子⁵、川合 覚⁶、
 金子 修^{2,3}
¹長崎大・熱研・共同研、²長崎大・熱研・原虫学、³長崎大・医歯薬・リーディングプログラム、
⁴北海道大・人獣共通感染症リサーチセンター、⁵予防衛生協会、⁶獨協医大・熱帯病寄生虫
- P24 マウス寄生性コクシジウム *Eimeria kriegsmanni* 感染における第 2 代メロントの存在意義
 小野 結菜¹、水野 真伸¹、松林 誠²、辻尾 祐志³、正谷 達膳⁴、松井 利博⁵、
 ○松尾 智英¹
¹鹿児島大・共同獣医・寄生虫病、²大阪府大・獣医・国際防疫、³鹿大・共同獣医・獣医解剖、
⁴鹿児島大・共同獣医・TAD、⁵清泉女子大
- P25 ネズミマラリア原虫の有性生殖関連分子の機能解析
 ○前多 晟壮、森 稔幸、平井 誠、美田 敏宏
 順天堂大・医・熱帯医学
- P26 フタトゲチマダニ卵母細胞の発育過程における卵黄タンパク質前駆体受容体の発現
 ○白藤(梅宮)梨可^{1,2}、三原 涼¹、阿部 靖之^{1,3}、松尾 智英⁴、堀内 雅之²、
 川野 優¹、藤崎 幸蔵⁵、鈴木 宏志^{1,2}
¹帯畜大・原虫研、²帯畜大・GAMRC、³県立広島大・生命科学、⁴鹿児島大・寄生虫、
⁵農研機構

遺伝子・核酸

- P27 ケニア産 *Rhipicephalus decoloratus* における β アドレナリン様オクトパミン受容体BOAR cDNA のクローニングによる非標準的スプライシングの発見
○八田 岳士^{1,6}、坪川 大悟¹、前田 大輝¹、松林 誠²、Martin D. Muinde³、Aboge G. Oluga⁴、David O. Odongo^{4,5}、竹中 昭雄⁶、Esther W. Ngethe³、辻 尚利¹
¹北里大・医・寄生虫、²大阪府大・生命環境、³Lab. Vet. Res., NBO., KEN.、⁴UON., NBO., KEN.、⁵ILRI., NBO., KEN.、⁶(国研)農研機構
- P28 モンゴル分離瘧疾トリパノソーマは新規ミニサークル塩基配列を有する
○菅沼 啓輔^{1,2}、山崎 詩乃²、Nthati Molefe²、Davaasuren Batdorj²、井上 昇³
¹帯畜大・グローバルアグロメディシン研究センター、²帯畜大・原虫病研究センター、³帯畜大
- P29 Transient transfection of intraerythrocytic *Babesia gibsoni* by *elongation factor-1 alpha* promoter
○劉 明明¹、麻田 正仁²、Paul Franck Adjou Moumouni¹、Hassan Hakimi²、正谷 達膳³、河津信一郎¹、山岸 潤也⁴、玄 学南¹
¹帯畜大・原虫研、²長崎大学・熱研、³鹿児島大学・共同獣医、⁴北海道大学・人畜共通感染症リサーチセンター
- P30 宿主毒性薬剤選択系を用いた *Plasmodium berghei* 遺伝子ターゲティング法の確立
○曾賀 晃、瀨瀬 摩美、福本 晋也
帯畜大・原虫病研究センター

オミクス解析

- P31 *Theileria orientalis* のマウスとマダニを用いた感染実験系の確立と遺伝子発現解析
○林田 京子^{1,2}、白藤 梨可²、Thillaiampalam Sivakumar²、山岸 潤也¹、鈴木 稜³、杉本 千尋¹、横山 直明²
¹北大・人獣・国際協力、²帯畜大・原虫研、³東大・新学術
- P32 Microbiome analyses of mice infected with *Strongyloides ratti* and *Strongyloides venezuelensis*
○Tanzila Afrin¹、前田 安信¹、安斎 一成¹、飯尾 美耶¹、Isheng J Tsai²、丸山 治彦¹、菊地 泰生¹
¹宮崎大・医・寄生虫学、²Academia Sinica, Taiwan
- P33 Draft genome sequence of *Sparganum proliferum* revealed phylogenetic and genetic relationships with *Spirometra erinaceieuropaei*
○菊地 泰生¹、丸山 治彦¹、倉持 利明²
¹宮崎大・医・寄生虫、²国立科学博物館

原虫免疫

- P34 南米型トリパノソーマ感染における宿主細胞質顆粒 P-body の翻訳調節
○瀬戸 絵理¹、鬼塚 陽子²、嶋田 淳子²
¹群馬大・医・分子予防医学、²群馬大・保健・生体情報検査
- P35 アメリカトリパノソーマ感染細胞におけるオートリソソーム形成抑制メカニズムの解析
○鬼塚 陽子¹、新城 翔子¹、植松 亜美¹、瀬戸 絵理²、嶋田 淳子¹
¹群馬大学・院保・生体、²群馬大・院医・分子予防医学

- P36 ***Eimeria tenella* 感染における単核貪食細胞の役割**
 ホー チー・ユン¹、松林 誠²、辻 尚利³、○畑生 俊光¹
¹岡山大院・環境生命科学・動物生理、²大阪府立大・生命環境科学・獣医国際防疫、
³北里大・医・寄生虫
- P37 ***Plasmodium chabaudi chabaudi* 感染治癒マウスの *P. berghei* ANKA 感染に対する交叉保護作用**
 ○中前早百合、木村 大輔、都田 真奈、Masoud Akbari、由井 克之
 長崎大・院医菌薬・感染免疫学・免疫学
- P38 ***Plasmodium berghei* 感染マウスの脾臓における抗原特異的 CD8⁺T 細胞動態の解析**
 ○バヤルサイハン ガンチメグ¹、都田 真奈¹、山本 一男²、木村 大輔¹、
 アクバリ マスド¹、油田 正夫³、由井 克之¹
¹長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座免疫学分野、
²長崎大学 医学部 共同利用研究センター 細胞機能解析支援部門、
³三重大学 医学部 医動物学分野

蠕虫免疫

- P39 **マンソン住血吸虫の先行感染がマラリア肝臓ステージに及ぼす影響**
 ○森保 妙子^{1,3}、中村 梨沙^{1,3}、Richard Culleton^{2,3}、濱野真二郎^{1,3}
¹長崎大・熱研・寄生虫、²長崎大・熱研・マラリア、³長崎大・院・医歯薬
- P40 **旋毛虫の抗関節炎作用は IL-10 に依存しない**
 ○長田 良雄¹、田原沙弥香¹、石原 翼¹、呉 志良²、長野 功²、前川 洋一²、
 金澤 保¹
¹産業医大・医・免疫寄生虫、²岐阜大・医・寄生虫
- P41 **マンソン裂頭条虫感染がマクロファージの活性およびヘルパー T 細胞の分化偏向に及ぼす影響の *in vivo* 解析**
 ○近藤 陽子¹、大槻 均¹、西方 修馬¹、野瀬麻悠香¹、福本 宗嗣²
¹鳥取大・医・医動物、²鳥取大・医・地域医療教育支援室

抗体検査と抗体反応

- P42 **Development of luciferase immunoprecipitation systems (LIPS) for serodiagnosis of Toxoplasmosis**
 ○Khin Myo Aye¹、馬場みなみ²、長安 英治¹、吉田 彩子³、高島 康弘²、丸山 治彦¹
¹宮崎大・医・寄生虫、²岐阜大・応用生物科学・獣医寄生虫病、
³宮崎大・大学院・医獣医・獣医寄生虫
- P43 **タイの三日熱マラリア患者における PvMSP-9 の組換え断片抗原に対する血清抗体の反応性解析**
 Sunisa Songsaigath^{1,2}、牧内 貴志¹、Chaturong Putaporntip²、Somchai Jongwutiwes²、
 ○橋 裕司¹
¹東海大・医・基礎医・生体防御、²チュラロンコン大・医・寄生虫
- P44 **長期保存が可能な抗原吸着 ELISA プレートの疫学調査への応用**
 ○長岡 史晃、高木 秀和、伊藤 誠
 愛知医大・医・感染・免疫
- P45 **ブタ回虫症血清診断に用いる最適抗原の検討**
 ○柴田 美帆¹、菊地 泰生¹、丸山 治彦¹、吉田 彩子²
¹宮崎大・医・寄生虫、²宮崎大・農・獣医寄生虫

P46 Sequence diversity and naturally acquired IgG antibodies against the merozoite surface protein 3 gamma of *Plasmodium vivax* in Thailand
○Napaporn Kuamsab^{1,2}、プタポーンティップ チャタロン²、牧内 貴志¹、垣野あずみ¹、
ジョンウーティウエス ソムチャイ²、橋 裕司¹
¹東海大・医・基礎医・生体防御、²チュラロンコン大・医・寄生虫

P47 国内 HIV 感染者における抗トキソプラズマ抗体保有率の検討
○保科 齊生^{1,2}、青沼 宏佳¹、小林 大晃²、宮島真希子²、李 広烈²、中拂 一彦²、
河野 真二²、清水 昭宏²、保阪由美子²、加藤 哲朗²、佐藤 文哉²、堀野 哲也²、
中澤 靖²、吉川 晃司²、吉田 正樹²、堀 誠治²、嘉糠 洋陸¹
¹慈恵医大・医・熱帯医学、²慈恵医大・医・感染制御

原虫症の基礎

P48 アカントアメーバの分離・同定法
○原 樹
久留米大・医・感染医学・真核微生物

P49 輸入チンチラにおけるクリプトスポリジウム症の発生
○窪田 理恵¹、松原 且季²、常盤 俊大¹、池 和憲¹
¹日獣大・獣・寄生虫、²ヴァンケット動物病院

P50 *Trypanosoma brucei* 由来 GMP synthetase に対する Ribavirin 5'-monophosphate の阻害能評価
○小林 委加、今村 章、岡田 哲也、石橋 宰、乾 隆
大阪府大・生命環境・生体高分子機能学

P51 Antimalarial activity found in Kampo compounds and extracts
○Awet Teklemichael¹、水上 修作²、Farhana Mosaddeque¹、Cherif Mahamoud Sama¹、
當銘 一文³、Nguyen Tien Huy²、小松かつ子³、平山 謙二¹
¹長崎大・熱研・免疫遺伝、²長崎大・熱研・臨床開発、³富山大・和漢研・生薬資源科学

P52 Expression of truncated *Babesia microti* apical membrane protein 1 and rhoptry neck protein 2 and evaluation of their protective efficacy
○Guanbo Wang、Artemis Efstratiou、Paul Franck Adjou Moumouni、玄 学南
帯畜大・原虫研